

NACHI



第126期 事業報告書

2007年12月1日から2008年11月30日まで

株式会社 不二越

証券コード 6474

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

第126期(2007年12月1日から2008年11月30日まで)の事業の概況についてご報告いたします。

経営環境

当期の当社グループをとり巻く経営環境は、原油・原材料価格の高騰や急激な円高の進行に加え、金融市場の混乱が実体経済へ波及し、後半にかけては国内外の自動車や電機、産業機械などの主要業界で設備投資の抑制、減産の動きが拡大し、世界同時不況の様相が強まってまいりました。

事業の経過ならびに成果

このような状況のもと、当社グループは、顧客のものづくりへのトータルサポートを狙いとして、独自のエンジニアリングビジネスをベースに連環型の商品・技術、サービスを提供する「ナチビジネス」を積極的に展開してまいりました。

この結果、売上高は、2,048億円と前期に比べ5.8%の増収となりました。このうち、国内向けの売上高は1,393億円(前期比7.5%

増)、海外売上高は655億円(同2.2%増)であります。

利益面につきましては、売上・生産の拡大による操業度の向上や、生産性の改善をはじめとしたトータルコストの低減にとり組みましたが、原材料・部品価格の上昇や、生産体制の拡充に伴う固定費の増加、急激な円高の進行が影響し、当期の営業利益は155億円と前期に比べて12億円の減益(前期比7.4%減)、経常利益は139億円(同8.7%減)となりました。これに特別損益として、固定資産売却益、投資有価証券評価損を計上し、当期純利益は83億円(同6.2%増)となりました。

配当金

期末配当金につきましては、当期の業績ならびに今後の事業展開などを勘案いたしまして、前期と同様に1株につき8円とさせていただきます。

今後のとり組み

今後の見通しにつきましては、世界経済の一段の後退、低迷による市場の縮小が強まり、自動車や産業機械業界など当社グループの主要顧客におきましても、先行きの経営環境はかつてない厳しい状況が続くものと思われまます。

当社グループといたしましては、新興国を中心に新しい市場の開拓にとり組むとともに、製造面をはじめ、調達・物流、研究開発、人事・組織など経営のあらゆる面で改革を推進し、需要変動に対して抵抗力のある強靱な経営体制の構築をすすめてまいります。

そして、世界のものづくりの分野で信認される「ナチブランド」を確立し、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年2月



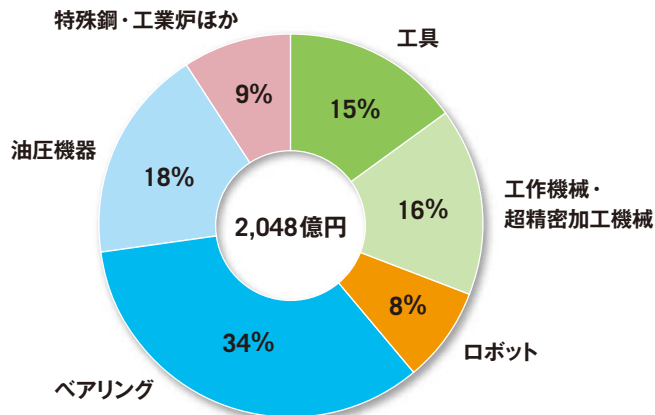
代表取締役会長兼CEO 井村 健輔 (左)
代表取締役社長兼COO 本間 博夫 (右)

表紙のデザインについて

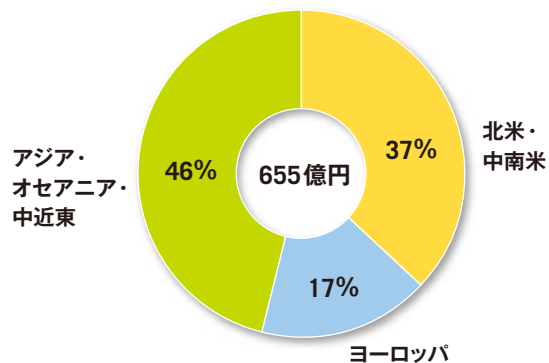
三角形は、社名に込められた企業理念、「不二、正反合」を表しています。

業績の推移(連結)

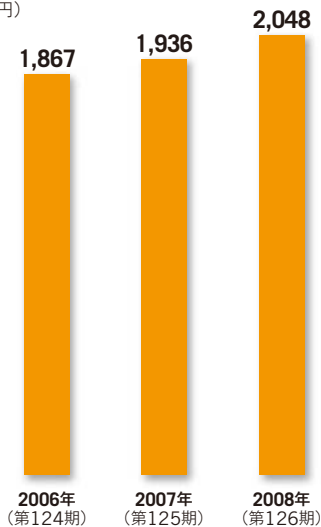
商品別の売上高構成



地域別の海外売上高構成



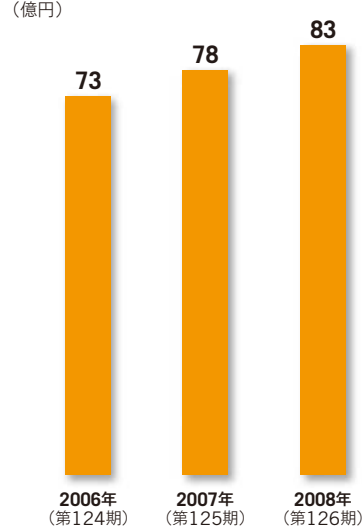
売上高
(億円)



営業利益
(億円)



当期純利益
(億円)



ものづくりの世界の発展に貢献する ナチビジネスの連環

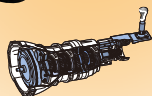
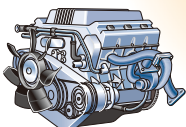
自動車 安全、低燃費で、快適な走りのために



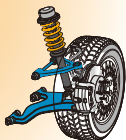
ステアリング



エンジン



トランスミッション



等速ジョイント

航空機 ジェットエンジン部品加工を、高精度、高能率に



タービンディスク・ブレード

新幹線

高い機能で
信頼に応える



車台

**ユーティリティ
(ミニ建機)**

省エネ・コンパクトで
大きなパワー



クルマ 航空機 新幹線 ミニショベル 工作機械 携帯電話
つくる、回す、走る技術。何ものかを生み出す

機械工具・ロボット事業

高精度・高能率加工、製造ラインの自動化に貢献



精密工具



工作機械



ナノレベルの
超精密加工機械



省スペース型
新プラットフォームロボット

機能部品事業

省エネ・安全を追求



高性能ベアリング



建設機械・産業機械用の
油圧機器

産業機械 省エネ、高精度、高効率を実現する



工作機械



射出成形機

生活関連 身近なシーンで活躍する



免震システム



DIY



開閉ドーム

電機・電子 家電からITまで



デジタル機器に使用される非球面レンズ



デジタルカメラ 液晶テレビ 住宅 環境関連 “不二越、不思議。Art in NACHI”

材料・熱処理事業

高機能・高品質を支える



特殊鋼



コーティング・浸炭など表面改質技術



エンジニアリング事業

コストと環境の両面に対応する



工具の再研削・再コーティング



ロボット・工作機械の保守サービス



省エネ・省資源システム



サーモテック・コーティング

財務諸表の要旨

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期 (2008年11月30日現在)	前 期 (2007年11月30日現在)
(資 産 の 部)		
流 動 資 産	90,617	99,833
現金及び預金	13,001	20,996
受取手形及び売掛金	38,507	41,149
たな卸資産	32,787	31,326
繰延税金資産	2,705	3,660
その他の	3,843	2,979
貸倒引当金	△228	△279
固 定 資 産	101,827	101,946
有 形 固 定 資 産	87,395	82,024
建物及び構築物	31,858	28,643
機械装置及び運搬具	45,922	43,229
土地	7,376	7,659
建設仮勘定	741	1,018
その他の	1,496	1,473
無 形 固 定 資 産	403	402
ソフトウェア	333	335
その他の	70	66
投資その他の資産	14,027	19,519
投資有価証券	9,801	16,255
長期貸付金	108	149
繰延税金資産	1,901	837
その他の	2,216	2,305
貸倒引当金	△0	△28
資 産 合 計	192,444	201,779

科 目	当 期 (2008年11月30日現在)	前 期 (2007年11月30日現在)
(負 債 の 部)		
流 動 負 債	91,892	100,815
支払手形及び買掛金	40,093	38,830
短期借入金	36,687	33,789
未払費用	5,406	10,982
その他	9,705	17,211
固 定 負 債	37,020	39,523
社債及び長期借入金	27,730	28,201
退職給付引当金	6,081	7,226
その他	3,208	4,096
負 債 合 計	128,913	140,338
(純 資 産 の 部)		
株 主 資 本	62,439	56,223
資 本 金	16,074	16,074
資本剰余金	11,567	11,571
利益剰余金	34,972	28,760
自己株式	△175	△183
評 価 ・ 換 算 差 額 等	△1,681	2,854
その他有価証券評価差額金	2,029	6,067
為替換算調整勘定	△3,710	△3,212
少 数 株 主 持 分	2,772	2,362
純 資 産 合 計	63,530	61,440
負 債 及 び 純 資 産 合 計	192,444	201,779

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	(2007年12月1日から 2008年11月30日まで)	(2006年12月1日から 2007年11月30日まで)
売 上	204,844	193,670
営 業 利 益	15,532	16,774
経 常 利 益	13,953	15,286
特 別 利 益	955	1,045
特 別 損 失	978	2,765
税金等調整前当期純利益	13,931	13,567
当 期 純 利 益	8,347	7,858

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	(2007年12月1日から 2008年11月30日まで)	(2006年12月1日から 2007年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,730	20,769
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,647	△11,060
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,126	△1,469
現金及び現金同等物の増減額	△8,131	8,322
現金及び現金同等物の期首残高	20,965	12,643
現金及び現金同等物の期末残高	12,833	20,965

連結株主資本等変動計算書 当期(2007年12月1日から2008年11月30日まで)

(単位:百万円)

科 目	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2007年11月30日残高	16,074	11,571	28,760	△183	56,223	6,067	△3,212	2,854	2,362	61,440
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△1,989		△1,989					△1,989
当期純利益			8,347		8,347					8,347
自己株式の取得				△33	△33					△33
自己株式の処分		△4		41	37					37
持分法適用会社増加に伴う減少高			△1		△1					△1
在外子会社最小年金債務調整額			△123		△123					△123
その他の			△19		△19					△19
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△4,037	△498	△4,535	409	△4,125
連結会計年度中の変動額合計	-	△4	6,212	7	6,216	△4,037	△498	△4,535	409	2,090
2008年11月30日残高	16,074	11,567	34,972	△175	62,439	2,029	△3,710	△1,681	2,772	63,530

トピックス

1 エンジニアリングビジネスを拡大

工具の再研削・再コーティング、ロボット・工作機械の保守サービス、省エネ・省資源システム、サーモテック・コーティングの4分野を柱として、エンジニアリングに係わる幅広いニーズに応えます。



工具の再研削・再コーティング／加工方法の現場診断
富山、神奈川、中国、アメリカほか
(株)GPAエンジニアリング



ロボット・工作機械のメンテナンス・オーバーホール
(株)ナチロボットエンジニアリング
(株)ナチマシンリーエンジニアリング

(切削・研削加工液の
フィルトレーションシステム)



(切削屑固化化システム)



省エネ・省資源システム
(株)ナチインダストリアルサービス (2008年8月設立)



サーモテック・コーティング
(株)ナチサーモテック (2008年8月設立)

2 環境・省エネルギー・省資源に貢献



インバータ駆動可変容量ポンプ油圧ユニット
標準的な工作機械の油圧ユニットに比べ、インバータの自動制御により約60%の省エネを実現。
日本機械工業連合会主催の第28回優秀省エネルギー機器表彰「会長賞」を受賞しました。

(2008年2月)



工具ブース



工作機械ブース



第24回日本国際工作機械見本市 (JIMTOF 2008)において、ECOマシンング、地球に優しいものづくりを提案。省スペース型ロボットによる自動化、消費電力を半減できる油圧システム「パワーマイスター」を搭載したハイブリッド・ブローチ盤Mi5010PA、フィルトレーションシステムなど環境対応型の商品・技術をアピール。
(2008年11月)

7軸の
多目的ロボット



ブローチ盤
Mi5010PA



パワーマイスター

3 新興国市場を開拓



(エンジニアリング センター)



東南アジア・タイ
NACHI TECHNOLOGY (THAILAND) CO., LTD.
ASEANビジネスセンターとして
エンジニアリング機能を拡張 (2008年9月)



メキシコ
NACHI MEXICANA ENGINEERING CENTER
精密工具の再研削やロボットのメンテナンス
などを行なうエンジニアリング拠点を開設
(2008年4月)



中国・上海
上海不二越精密軸承有限公司
那智不二越(上海)精密工具有限公司
ベアリング、工具に加え、油圧機器の
生産をスタート (2008年4月)



ブラジル
NACHI BRASIL LTDA.
自動車、バイク需要の拡大に伴い、
ベアリングの生産能力を増強

4 人材育成・交流を活性化



複合・多目的研修施設「不二越 セルバ」を新設

国内外の販売店やカスタマーを招いて、交流・研修の場を提供。
不二越グループ社員のキャリア形成をサポートします。
(富山事業所 2008年3月)

セルバ(Selva):とくにアマゾン流域など熱帯雨林地域を指し、
多彩な生物が共生する環境。共に育む思いを込めている。

株式の状況 (2008年11月30日現在)

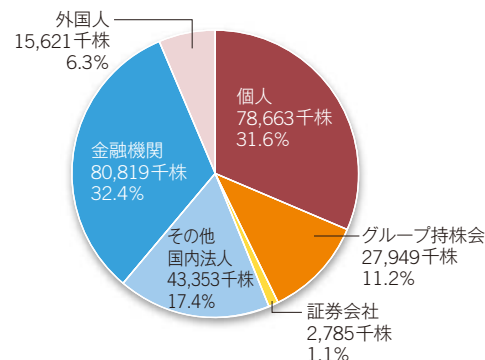
発行済株式の総数 249,193,436株

株主数 35,642名

大株主(上位5名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
トヨタ自動車株式会社	13,182	5.29
那智わねい持株会社	12,335	4.95
株式会社三菱東京UFJ銀行	11,888	4.77
ナチ不二越従業員持株会社	11,684	4.69
株式会社北陸銀行	8,659	3.48

所有者別株式分布



取締役ならびに監査役 (2009年2月20日現在)

代表取締役会長 兼CEO	井村健輔	常務取締役	中河清	常勤監査役	中野直人
代表取締役社長 兼COO	本間博夫	常務取締役	柴功安	常勤監査役	佐口厚*
取締役副社長	石黒健治	取締役	関敦*	監査役	明石光生*
常務取締役	田中幸彦	取締役	金子善四郎	監査役	福島栄一*
常務取締役	佐々木誠	取締役	片山直夫		
		取締役	寺越秀夫		
		取締役	荻野肇一		

*の各氏は、それぞれ社外取締役、社外監査役です。

事業役員 (2009年2月20日現在)

事業役員	目黒清	事業役員	瀬川信男	事業役員	山崎正
事業役員	小林昌行	事業役員	田中佐千夫	事業役員	窪田裕和
事業役員	瀬戸錦	事業役員	杉浦俊男	事業役員	三和茂樹

▶ 不二越の由来

不二越は、1928年(昭和3年)、当時ほとんど輸入に頼っていた機械工具の国産化をめざして、富山市に創立されました。創業者・井村荒喜は、「機械工具分野の自立こそ、わが国の産業を発展させる基礎である」という強い使命感にあふれ、この抱負を、創業の精神として「不二越」に表わしました。

不二は、仏典で「善悪不二、邪正一如」あるいは「迷悟不二」というように、現象としては違うもの、反対に見えるものも、より高い次元に立ってその本質を深く見極めれば、もともと一つのものであることを意味します。すなわち、正に対する反、そして合への昇華を期するものです。

越は、北陸の古い呼称「高志」を意味し、私たちがめざしている“Art”につながります。技術を「有規無辺」に伸ばし、企業の価値を高めていくことに通じるものです。

▶ NACHIの由来

NACHIブランドは、日本／大和のルーツである熊野的那智大社に由来し、高い事業意欲を表わしたものです。

1929年(昭和4年)、昭和天皇が国産奨励の産業視察のため関西に巡幸されたおり、大阪市庁で、優秀国産品として、不二越のハクソー(金切鋸刃)をご覧になりました。

初代社長・井村荒喜は、この破格の栄誉にいたく感激し、そのときの陛下のお召艦である最新鋭の国産巡洋艦「那智」の艦形をバツクにして、NACHIマークをつくり、商標としました。

創業まもない地方の小企業の製品が天覧に供されたことは、すぐれた着想と研究開発の成果であります。

昭和天皇の即位の御大典と不二越の発足が重なる、新しい時代の潮のなかから生まれた商標です。

会社の概要 (2008年11月30日現在)

設立	1928年12月21日
資本金	160億円
従業員数	2,729名(グループ人員 5,853名)
主要な事業内容	機械工具事業 切削工具 塑性加工工具 切断工具 工作機械 超精密加工機械 機械加工システム ロボット事業 ロボットシステム 電子機器 機能部品事業 ベアリング 油圧機器 カーコントロールバルブ 免震システム フィルトレーションシステム 材料・熱処理事業 特殊鋼 コーティング 工業炉など

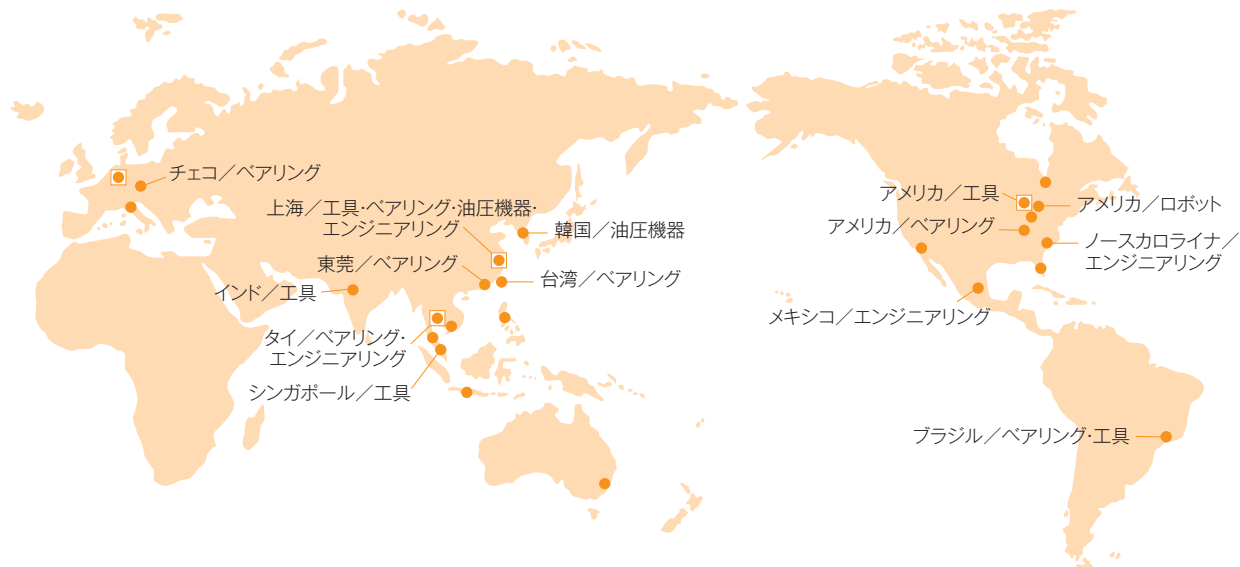
主な国内事業所

富山本社	富山市不二越本町1-1-1 〒930-8511	Tel.076-423-5111
東京本社	東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル17F 〒105-0021	03-5568-5111
東日本支社	東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル17F 〒105-0021	03-5568-5280
中日本支社	名古屋市名東区高社2-120-3 ナチ名古屋ビル 〒465-0095	052-769-6811
西日本支社	東大阪市本庄西2-3-7 ナチ大阪ビル 〒578-8522	06-6748-2510
富山事業所	富山市不二越本町1-1-1 〒930-8511 [工具・工作機械 ロボット ベアリング]	076-423-5111
東富山事業所	富山市米田町3-1-1 〒931-8511 [特殊鋼]	076-438-4411
	富山市中田3-2-1 〒931-8453 [油圧機器]	076-438-8970
滑川事業所	滑川市大掛176 〒936-0802	076-471-2101
	[プレジジョン 油圧機器 カーハイドロリクス コーティング 工業炉]	

主な国内子会社

(株)ナチ関東	東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル17F 〒105-0021	Tel.03-5568-5190
(株)ナチ常盤	東京都港区浜松町2-1-17 松永ビル5F 〒105-0013	03-3437-1631
(株)ナチベアリング製造	富山市水橋伊勢屋193 〒939-3524	076-478-2098
(株)ナチ東北精工	山形市立谷川3-1174-3 〒990-2251	023-686-2116

主な海外拠点



株式メモ

証券コード	6474
基準日	定時株主総会の議決権 11月30日
	期末配当 11月30日
	中間配当 5月31日
定時株主総会	2月
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	中央三井信託銀行株式会社 〒105-8574 東京都港区芝3-33-1
同事務取扱場所	中央三井信託銀行株式会社 本店 〒105-8574 東京都港区芝3-33-1 ☎0120-78-2031
ホームページアドレス	http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/

単元未満株式の買増および買取請求のご案内

当社は、「単元未満株式の買い増し制度」を導入しています。単元未満株式(1,000株未満)をご所有の株主様が、単元株式数(1,000株)にするための不足分を買い増しいただける制度です。

また単元未満株式の売却を希望される株主様につきましては、買取請求ができません。

証券会社等の一般口座でご所有されている単元未満株式の買増または買取請求につきましては、お取引の証券会社等にご相談ください。

また、特別口座でご所有されている単元未満株式の買増または買取請求につきましては、左記の中央三井信託銀行へお問い合わせください。

不二越、不思議。Art in NACHI

わくわくする技術、それはアート。

“Art”を辞書でひくと 芸術、技術、技芸という意味があります。

鍛え抜かれた肉体、高い精神から創り出される“技(わざ)”。演じるすべてがアートでありたい。

つくる、回す、走る技術。something(何ものか)を生み出す “ものづくりの不二越、不思議。”

私たちは Art in NACHI を提案してまいります。

NACHI